

# 沿岸定線観測速報 ちば (2018年8月)

千葉丸：8月4～6日

千葉県水産総合研究センター

千葉県農林水産技術会議

平成30年8月24日

黒潮は、房総沖をやや離岸して北東へ向けて流れていました (図2)。

水温は、外房及び銚子・九十九里海域とも海面は平年よりやや高め、50m以深は平年並みでした (表1)。

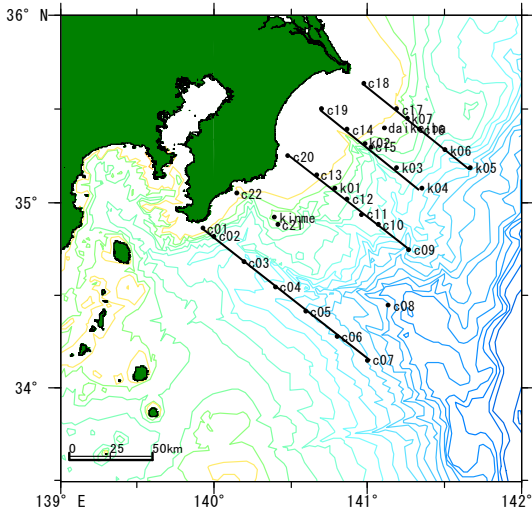


図1 調査点 (K1～K7は欠測)

線は北から犬吠崎，九十九里，太東岬，野島崎ライン

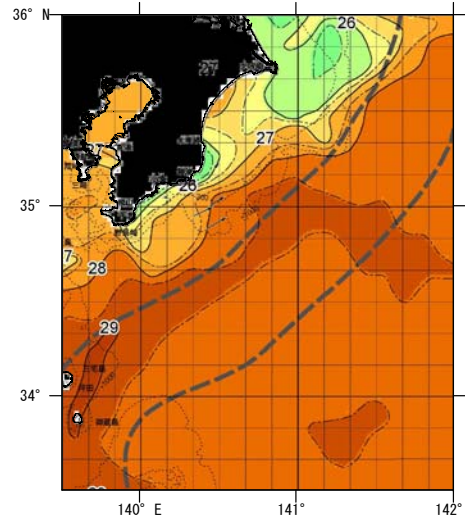
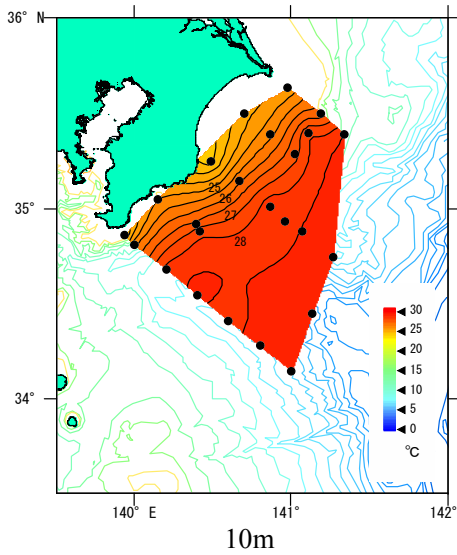
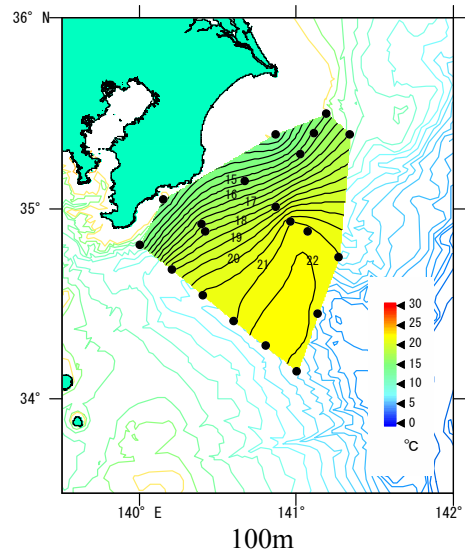


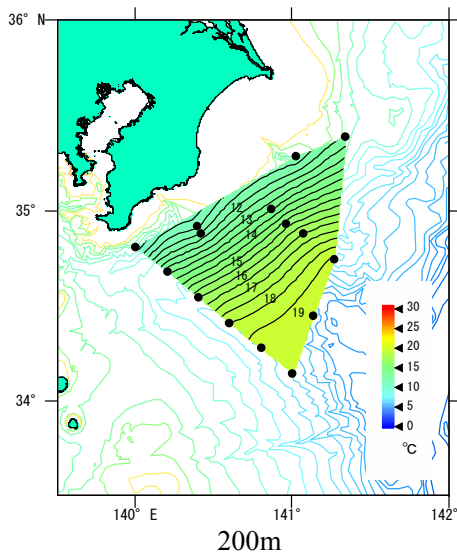
図2 観測時の海況



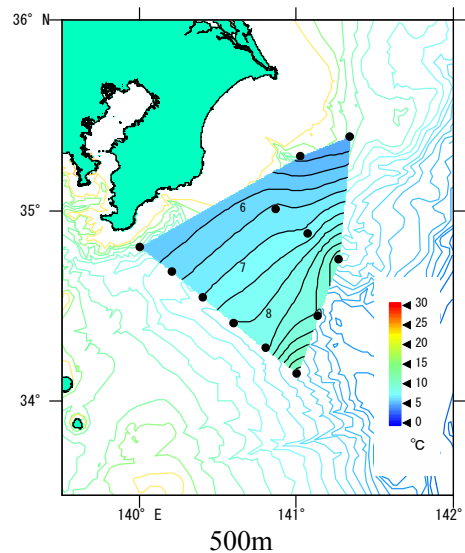
10m



100m



200m



500m

図3 水深別の水温水平分布

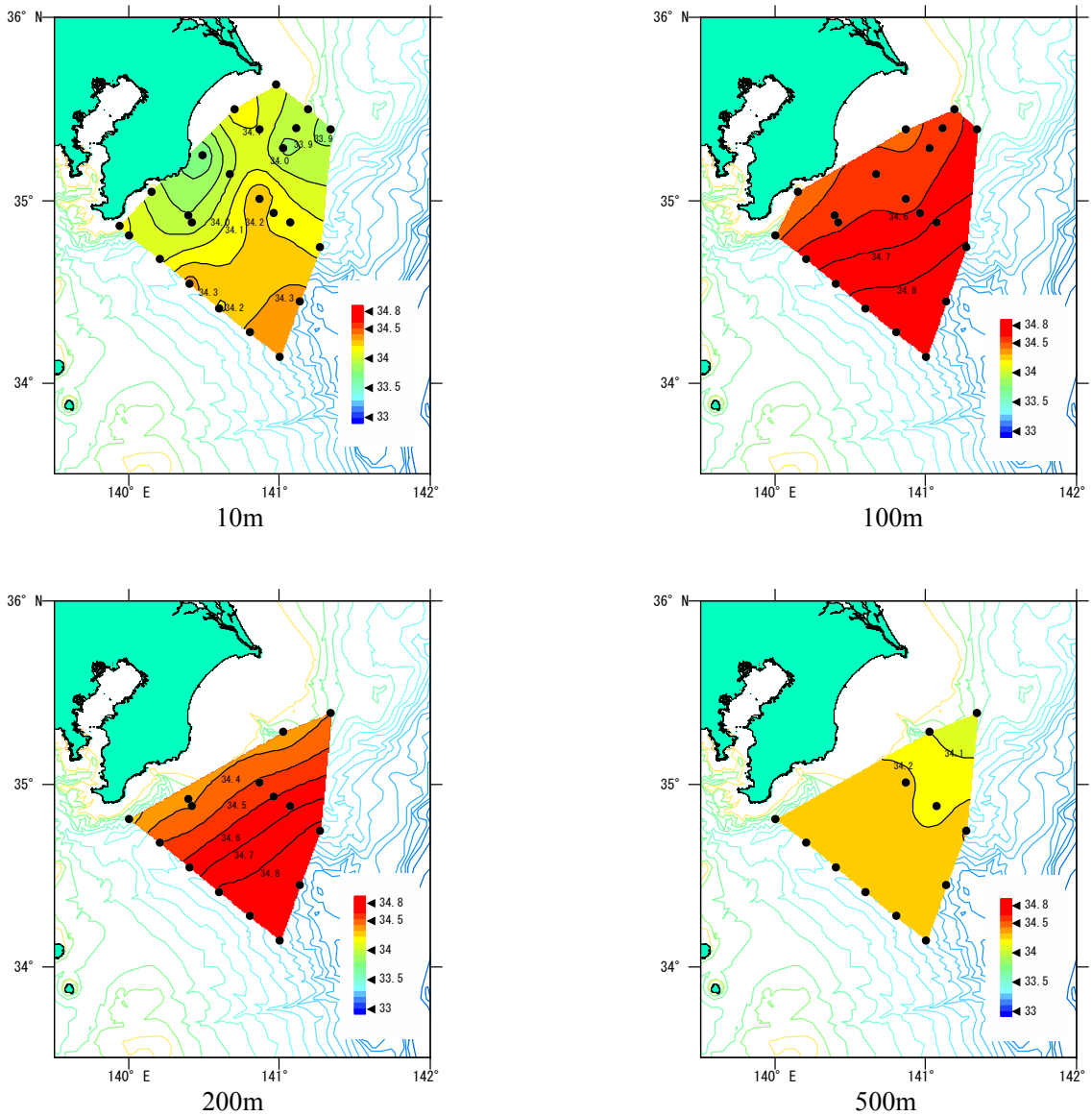


図4 水深別の塩分水平分布

銚子沖から太東岬沿岸にかけて、銚子～鹿島灘沖に分布する冷水塊から南下する水塊の影響を受け、海面が低温・低塩分化していました（図2，4）。

一方、水深50m以深には黒潮系の高塩分水が分布していました。特に、南に位置する野島崎ラインや太東岬ラインでは黒潮系の高塩分水が水深300～400mまで厚く分布していました（図5，6）。

勝浦沖及び銚子沖のキンメダイ漁場の水温は、それぞれ水深150m，50mまでは去年並みでしたが、水深200mはいずれも去年より3℃ほど低下していました（図7）。



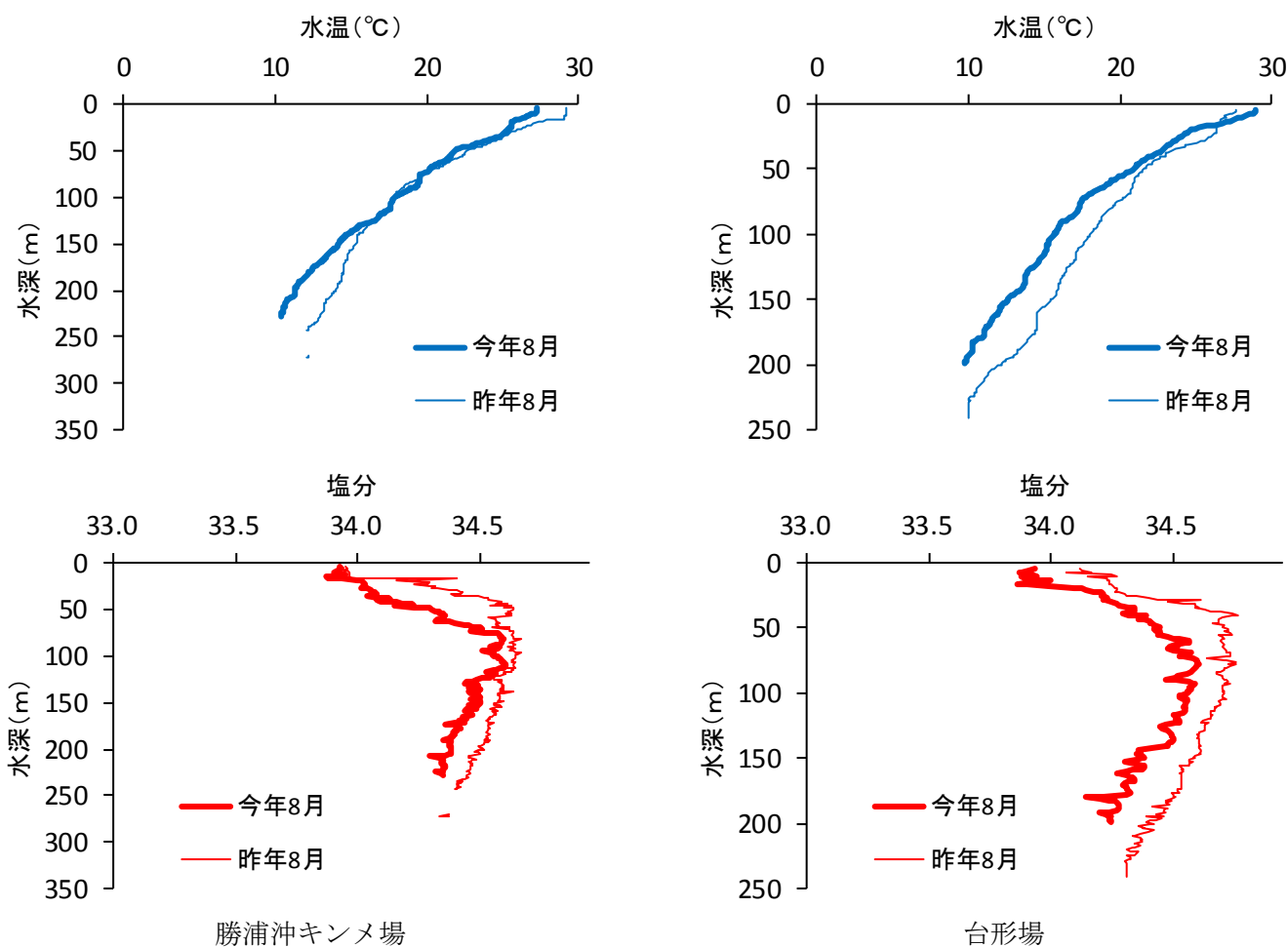


図7 勝浦沖キンメ場・台形場の水温塩分鉛直分布

表1 海域別平均水温 (°C) と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	26.7 やや高め	18.7 平年並み	15.4 平年並み	12.1 平年並み
外房	27.2 やや高め	20.3 平年並み	17.7 平年並み	13.9 平年並み

\*水温評価点 (銚子・九十九里海域：C14~20 計7点)  
(外房海域：C1,C3,C11,C13,C21,C22 計6点)

\*沿岸水温評価の目安

きわめて高め	2.0 $\sigma$ ~	
高め	1.3 $\sigma$ ~ 2.0 $\sigma$	
やや高め	0.6 $\sigma$ ~ 1.3 $\sigma$	
平年並み	0 ~ 0.6 $\sigma$	
平年並み	0 ~ -0.6 $\sigma$	
やや低め	-0.6 $\sigma$ ~ -1.3 $\sigma$	
低め	-1.3 $\sigma$ ~ -2.0 $\sigma$	
きわめて低め	-2.0 $\sigma$ ~	( $\sigma$ : 標準偏差)

<資料> 関東・東海海況速報 (図2; 8月6日分)